

# 令和2年度 研究倫理研修会のご案内

次世代がん医療創生研究事業（P-CREATE）サポート機関 研究倫理支援ユニットでは、革新的がん医療実用化研究事業 革新的がん研究支援室（PRIMO）研究倫理支援ユニットと共催で、令和2年度研究倫理研修会を開催いたします。

人体から取得された試料・情報を使用される研究において、将来的に研究にご参加いただいた方に結果を返却（フィードバック）すべきかどうか分からない、という疑問やお悩みがよく聞かれます。以前から多くの議論がなされてきた点ですが、今回の研修会では、最近の議論をもとに、あらためて皆さまと共に考えてみたいと思います。また、近年、バイオバンクの活用が国際的に進められていますが、利用手続きやMTA（Material Transfer Agreement）の締結など、意外と知られていない事項もあるようです。そこで、倫理面を中心に、ぜひ知って頂きたいポイントをご紹介します。

新規採択課題の皆様はもちろん、全課題の先生方、また研究倫理業務等をご担当される皆様で、ご関心のある方は、ぜひふるってご参加ください。

下記案内文・申込方法をご覧ください、関係者の方々へご周知いただけましたら幸いです。

◆ 日時： 令和3年3月2日（火）15:00～16:30

◆ 開催方式：ウェビナー（オンラインセミナー）

オンラインウェブ会議システム Zoom を使用する予定です。

インターネットに接続可能なパソコン・タブレット等からご参加ください。

◆ 対象： P-CREATE または 革新的がん医療実用化研究事業の研究開発参加者リストにお名前のある方、研究倫理業務等に関わる方で、研究代表者が指名する方  
※本研修会への参加は任意であり、研究代表者のご参加は必須ではありません。

◆ 講演内容（予定）：

◇ 研究結果の返却をどう考える？ 最近の議論から  
武藤 香織（東京大学医科学研究所 公共政策研究分野）

◇ 意外と知らない？ バイオバンクの活用とMTA  
永井 亜貴子（東京大学医科学研究所 公共政策研究分野）

【主催】 国立研究開発法人日本医療研究開発機構委託事業「次世代がん医療創生研究事業」（P-CREATE）  
サポート機関 研究倫理支援ユニット（ユニット長：東京大学医科学研究所 武藤香織）

【共催】 国立研究開発法人日本医療研究開発機構委託事業「革新的がん医療実用化研究事業」  
革新的がん研究支援室（PRIMO） 研究倫理支援ユニット

◆ 申し込み方法：

**2月28日（日）まで**に、下記 URL の申し込みフォームよりお申込みください。

ご登録いただいたメールアドレス宛に、参加方法と参加用 URL 等を後日ご連絡差し上げます。

（代表の方が複数名まとめてお申込みをすることも可能です。）

<https://forms.gle/4khrW5fCs5PY65Hc8> （QRコードからもアクセス可）

【本研修会に関する問合せ先】

次世代がん P-CREATE サポート機関 研究倫理支援ユニット 担当：永井亜貴子・李怡然

E-mail: [p-create.support.elsi@pubpoli-imsut.jp](mailto:p-create.support.elsi@pubpoli-imsut.jp)

〒108-8639 東京都港区白金台 4-6-1 東京大学医科学研究所 公共政策研究分野

